

## 取扱説明書

## ご購入いただきありがとうございます。

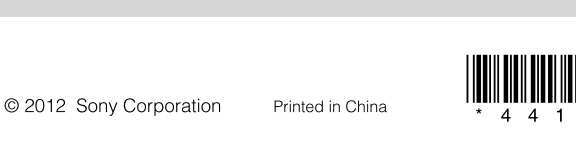
## 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

**この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。**
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 警告

### ICD-BX122



## 警告

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。







- 安全のための注意事項を守る**

- 故障しただけでない**



- 万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口**に修理を依頼する



## 警告表示の意味



この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



<b>△危険</b>	注意を促す記号
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。	 
<b>△警告</b>	行為を禁止する記号
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。	 
<b>△注意</b>	
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	 

<b>△警告</b>	 	下記の注意事項を守らないと <b>火災・感電により死亡や大けがの原因</b> となります。
------------	---	---



<b>運転中は使用しない</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対にやめください。交通事故の原因となります。</li> <li>また、歩きながら使用するときは、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。</li></ul>	



<b>内部に水や異物を落とさない</b>	
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。	



<b>湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない</b>	
火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。	

<b>雷が降りだしたら、電源プラグに触れない</b>	
感電の原因となります。	

<b>△注意</b>	下記の注意事項を守らないと <b>けが</b> をしたり <b>周辺の家財に損害</b> を与えたりすることがあります。
------------	--

<b>内部を開けない</b>	
感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。	

<b>大音量で長時間つづけて聞きすぎない</b>	
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。	

<b>はじめからボリュームを上げすぎない</b>	
突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。	

## 電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。
<b>充電式電池</b> ニカド(Ni-Cd)、ニッケル水素(Ni-MH)、リチウムイオン(Li-ion)
<b>乾電池</b> アルカリ、マンガン

## △危険

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。**
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(下記)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。	<a href="http://www.sony.jp/support/">http://www.sony.jp/support/</a>
<b>使い方相談窓口</b> フリーダイヤル……………0120-333-020 携帯電話・PHS一部のパIP電話 050-3754-9577	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている際に「303」＋「#」を押してください。
<b>修理相談窓口</b> フリーダイヤル……………0120-222-330 携帯電話・PHS一部のパIP電話 050-3754-9599	直接、担当窓口へお申込みします。
<small>※夜間修理：リモコン/充電器/入庫はこちへお電話ください。</small>	

## △危険

### 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋とーを正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

### 日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電電池は、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBR(ホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください)。

## △警告

### 乾電池について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。電池を飲み込んだときは、**窒息や昏などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋とーを正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 長時間使用しないときや、使い切った電池は取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

## △注意

### 乾電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

<ul style="list-style-type: none"><li>本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。</li> <li>また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。</li> <li>本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。</li> <li>録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前のために録りをしてください。</li> <li>お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。</li></ul>
---

<b>バックアップのおすすめ</b>
万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダー、ミニディスク、コンピューターや他のICレコーダーなどに保存してください。

<b>お問い合わせ窓口のご案内</b>
本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。
<ul style="list-style-type: none"><li>本機の商品カテゴリーは「ICレコーダー」です。</li> <li>お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●型名：ICD-BX122</li> <li>●シリアルナンバー：電池ボックス内に記載</li> <li>●お買い上げ年月日</li></ul>
●ご相談内容：できるだけ詳しく

## お問い合わせ窓口のご案内

## 準備

## 準備1：箱の中身を確認する

### 本体(1)

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

### ソニー単4形アルカリ乾電池(2)

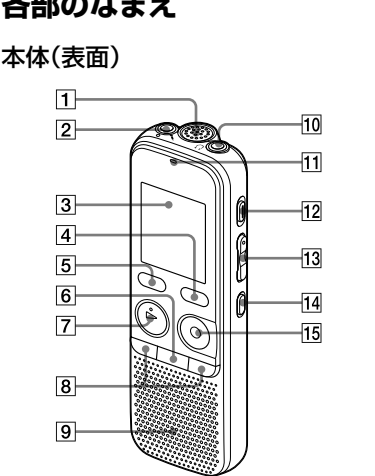
### 取扱説明書(本書)(1)


### 保証書(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなる場合がありますので、ご注意ください。
--

## 各部のなまえ

### 本体(表面)

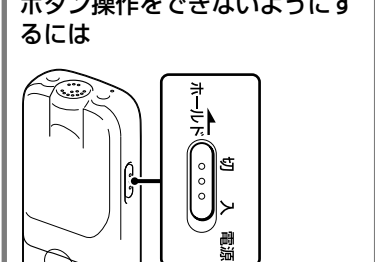


- 内蔵マイク
-  (マイク)ジャック\*
- 表示窓
- フォルダ/メニューボタン
- 分割ボタン
- (停止)ボタン
- ▶再生/決定ボタン\*
- ◀ (早戻し/レビュー)、▶▶ (早送り/キュー)ボタン
- ◊ (ヘッドホン)ジャック
- スピーカー
- 録/再ランプ
- 消去ボタン
- 音量－/+\*ボタン
- 表示ボタン
- 録音/一時停止ボタン

\*凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

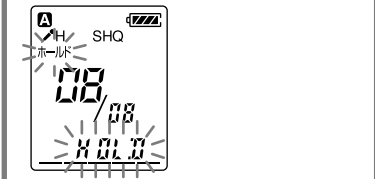
## 誤操作を防止する(ホールド)

### ボタン操作をできないようにするには



### 録音または再生中に、ホールド・電源スイッチを矢印の方向にすらしす。

「HOLD」、「ホールド」が点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。



### ボタン操作をできるようにするには

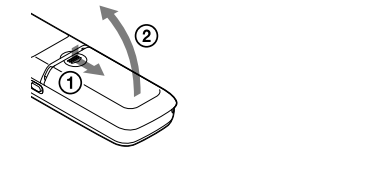
ホールド・電源スイッチを矢印と反対の方向にすらしす。ボタン操作ができるようになります。

- ご注意**
- 録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作ができなくなり、誤操作を防止します。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。
- 停止中にホールドにすると、電源が「切」になります。

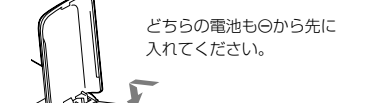
## 準備2：電池を入れる

表示窓に貼られているフィルムを剥がしてお使いください。

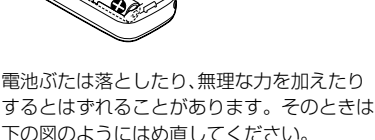
### 1 電池ぶたを矢印の方向へすらすらして開ける。



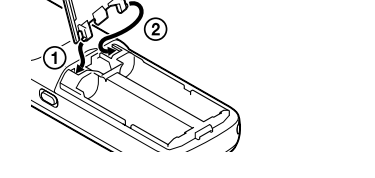
### 2 単4形アルカリ乾電池(付属)を2本入れ、ぶたを閉める。



どちらの電池も前から入れてください。



電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは下の図のようにはめ直してください。



### △ヒント

- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルは消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約1分間、時計は動いています。
- 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。この場合の電池寿命は、温度などの環境によっても異なりますが、約2か月が目安です。長い間ご使用にならない場合は、電池をはずしておくことをおすすめします。

- ご注意**
- マンガン電池はお使いになれません。
- 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください

## 電池を交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

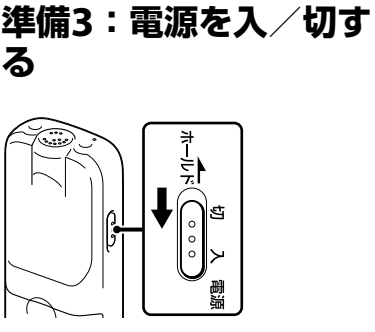
### 電池の残量表示

※左：電池の交換時期が近づいています。

↓

※右：「LO BATT」が点滅し、操作が停止します。

## 準備3：電源を入/切する



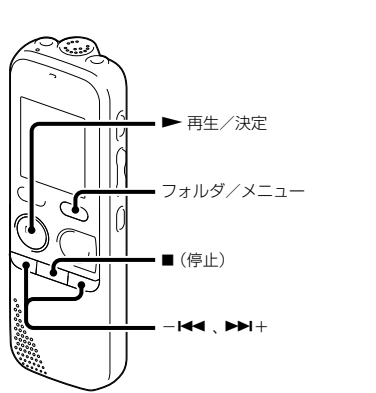
ホールド・電源スイッチを「入」の方向にすらすらと、電源が入ります。

### 電源を切るには

お使いにならないときは、電源を切ることで電池の消耗を低減することができます。停止中にホールド・電源スイッチを「切」の方向にすらすらと、「OFF」が点滅し、しばらくたってから電源が切れます。

- △ヒント**
- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 電源を入れて停止状態のまま約10分経過すると自動的に表示が消えます。(ボタンを押せば、操作できます。)

## 準備4：時計を合わせる



## 電池を入れてすぐに時計を合わせる

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまましばらくお使いにならない場合、新しいファイルは自動的に選んだフォルダの一番最後に録音されます。

## 1 年を合わせる。

◀◀または▶▶+ボタンを押して、年の数字(西暦の下2桁の数字)を選びます。▶再生/決定ボタンを押すと、カーソルが月表示に移動します。



## 2 同じ手順で、月、日、時、分の順に設定する。

◀◀または▶▶+ボタンを押して、数字を選び、▶再生/決定ボタンを押して決定します。時計設定中に、■ (停止)ボタンを押すと、キャンセルされます。その場合は、メニューを使って時計を合わせてください。

## メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 フォルダ/メニューボタンを長押ししてメニューモードに入る。メニュー画面が表示されます。

2 ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「SET DATE」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。



3 ◀◀または▶▶+ボタンを押して、年、月、日、時、または分の数字を選び、▶再生/決定ボタンを押して順に設定する。



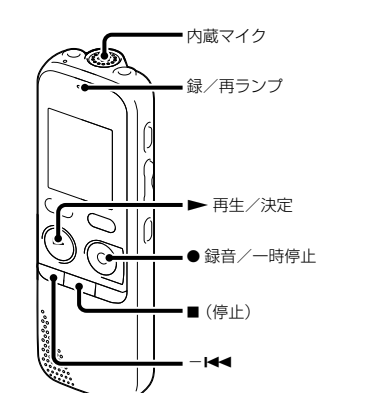
### 4 ■ (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

▼

●ヒント
メニュー操作中、ひとつ前の操作に戻るには、フォルダ/メニューボタンを押します。

- ご注意**
- 時計設定モードに入ってから、設定を完了しないまま1分以上操作を行わない場合、時計設定モードがキャンセルされ、停止画面に戻ります。

## 録音する



### ●ご注意

録音を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

## フォルダを選ぶ

1 フォルダ/メニューボタンを押して、録音するファイルを保存したいフォルダを選び(A B C D)またはE。録音した後にフォルダを変更した場合、次にファイルを録音したときから、新しく選んだフォルダに保存されます。

## 録音を始める

●ヒント
音声はモノラルで録音されます。別売のステレオマイクを接続し、SHQモードまたはHQモードに設定して録音すると、ステレオで録音できます。

1 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

2 停止中に●録音/一時停止ボタンを押す。録/再ランプがオレンジに点滅後、赤で点灯します。



- 録音/一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。「PAUSE」が点滅します。
- \*録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

## 録音を止める

### 1 ■ (停止)ボタンを押す。

今録音したファイルのはじめで停止します。

## 再生を止める

### 1 ■ (停止)ボタンを押す。

再生の途中、その位置で停止する

▶再生/決定ボタンを押す。もう一度▶再生/決定ボタンを押すと、止めるところから再生が始まります。

### 今聞いているファイルの順に戻る

◀◀ ボタンを短く1回押す。

### 前のファイル、さらに前のファイルに戻る

◀◀ ボタンを短く何回か押す。(停止中は押したままにすると、連続して戻ります。)

### 次のファイルに進む

▶▶+ ボタンを短く1回押す。

### さらに次のファイルに進む

▶▶+ ボタンを短く何回か押す。(停止中は押したままにすると、連続して進みます。)

## 1件を繰り返し聞くには(リピート再生)

再生中に▶再生/決定ボタンを長押しします。

「◀」が表示され、そのファイルが繰り返し再生されます。

通常再生に戻るには、▶再生/決定ボタンを押します。

## 表示を切り換える

再生、停止、録音中に表示ボタンを押して、カウンタ表示を切り換えることができます。

▼

●ヒント
録音されるファイルはMP3ファイルで録音されます。

●フォルダには、最高99のファイルが録音できます。

●録音をする前に、あらかじめためし録りするが、録音モニターをしながら録音することをおすすめします。

●録音される音声が大きすぎる、または歪むときは、メニューの「MIC」(マイク感度)を「L」に設定してください。録音される音声が小さすぎるときは、メニューの「MIC」(マイク感度)を「H」に設定してください。



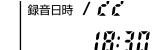
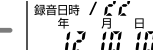
### ●ご注意

●画面上に「ACCESS」が点滅中、または録/再ランプがオレンジに点滅している間、電池をはずさないでください。データが破損するおそれがあります。

●録音を始める前に必ず電池残量表示を確認してください。

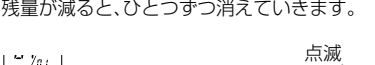
●録音中に、本機に手などが当たったり、こすったりすると雑音が発音されてしまうことがあります。録音が終了するまでは、本機に触れないように、ご注意ください。

●録音中や再生中に、本機を電灯箱、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。

経過時間	残り時間(録音中は録音可能時間、再生中は再生残り時間)
	
録音時刻	録音日付
	

## メモリー残量表示について

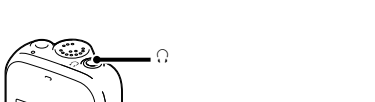
残量が減ると、ひとつずつ消えていきます。



▼

録音中に残り時間が10分を切るとメモリー残量表示が点滅し、残り時間が1分を切ると「残り時間」表示モードに切り替わり、残量表示とカウンタ表示が点滅します。残量がなくなると、録音が自動的に停止し、「FULL」と録音 が点滅します。録音するには、不要なファイルを消去してください。

## 録音中の音を聞く



▼

●ご注意
一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

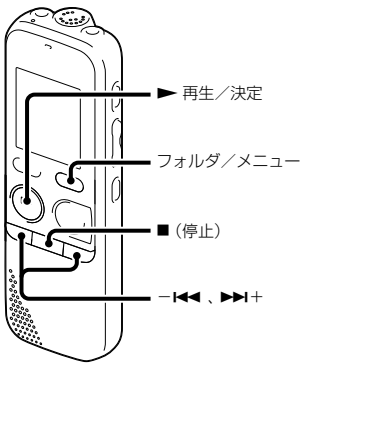
●消去を始める前に、ホールドを解除して電源を入れてください。

●保護設定されたファイルは消去できません。メニューで「LOCK」を「OFF」に設定してから、消去してください。

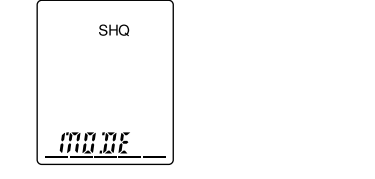
### 1 停止中または再生中に、消去

## メニューについて

## メニューの使いかた

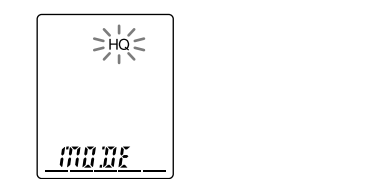


- フォルダ/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。メニュー画面が表示されます。



- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、設定したい項目を選び、▶再生/決定ボタンを押す。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、設定を選び、▶再生/決定ボタンを押す。



- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

- ご注意**
  - 1分間もないとしても、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

- 1つ前の画面に戻るにはメニュー操作中にフォルダ/メニューボタンを押します。

メニューモードを中止するには

- (停止)ボタンを押します。.

## メニュー項目

(\*、初期設定)

<b>MODE (録音モード)</b>
停止中に、音質などの用途に応じた録音モードを選べます。音質を重視しない簡易な録音、メモ録音はLPモードで長時間お使いになれます。より良い音質で録音したいときは、SHQモードまたはHQモードをお使いください。SHQ*：モノラル超高音質モード (44.1 kHz/192 kbps) <p>HQ：モノラル高音質モード (44.1 kHz/128 kbps)</p> <p>SP：モノラル標準モード (44.1 kHz/48 kbps)</p> <p>LP：モノラル長時間モード (11.025 kHz/8 kbps)</p>
<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>録音中は録音モードの切り換えはできません。</li></ul>

<b>MIC (マイク感度)</b>
停止、録音、録音一時停止中に、用途に合わせて、マイクの感度を選べます。
<b>HP</b> ：小さな音を大きくするとともに、全体の録音レベルを最適化することでバランスのとれた録音を実現します。広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使います。
<b>ノ</b> ： 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使います。

<b>VOR</b>
停止、録音、録音一時停止中に、VOR (Voice Operated Recording) 機能を設定できます。ON：ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。●録音／一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。OFF*：VOR機能は働きます。
<b>DPC</b>
停止/再生中に、DPC (デジタルピッチコントロール) 機能を設定できます。ON： +100%から−50%の間で再生速度を調節できます。OFF*：DPC機能は働きません。

<b>N-CUT (ノイズカット)</b>
停止/再生中に、ノイズカット機能を設定できます。ON：録音した音を聞きやすくするために、音声帯域には影響の出ない低域と高域の雑音を低減して音声をより聞きやすくします。OFF*：ノイズカット機能は働きます。
<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>録音モニター中、内蔵スピーカーで再生中は、ノイズカット機能は働きません。</li> <li>ノイズカット機能の効果は、録音音声の状態によって異なります。</li></ul>

<b>SET DATE (時計設定)</b>
停止中に、「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせることができます。

<b>BEEP (操作音)</b>
停止中に、操作時の確認音およびエラー音を設定できます。ON*：操作時の受け付け確認音およびエラー音が鳴ります。OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。
<b>LOCK (保護)</b>
停止中に、ファイルを保護して、消去、分割や移動ができないようにします。ON：ファイルを保護します。OFF*：保護設定を解除します。

<b>MOVE (移動)</b>
停止中に、ファイルを選んだ他のフォルダに移動できます。メニューに入る前に、移動するファイルを表示してください。

- ご注意**
  - メニューで「LOCK」が「ON」になっているファイルは移動できません。

<b>ALL ERASE (全消去)</b>
停止中に、フォルダのすべてのファイルを一度に消去できます。フォルダを選び、メニューモードに入り、「ALL ERASE」が点滅中に▶再生/決定ボタンを押すと、フォルダ内のすべてのファイルが消去されます。
<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>メニューで「LOCK」が「ON」になっているファイルは消去できません。</li></ul>

<b>ALL ERASE (全消去)</b>
停止中に、フォルダのすべてのファイルを一度に消去できます。フォルダを選び、メニューモードに入り、「ALL ERASE」が点滅中に▶再生/決定ボタンを押すと、フォルダ内のすべてのファイルが消去されます。
<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>メニューで「LOCK」が「ON」になっているファイルは消去できません。</li></ul>

## その他の録音操作

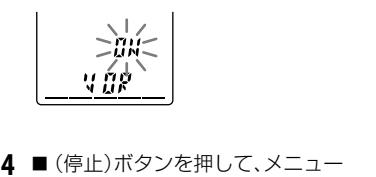
## 音がしたとき自動録音する－VOR (Voice Operated Recording) 録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時的に停止するように設定することができます。

- フォルダ/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。

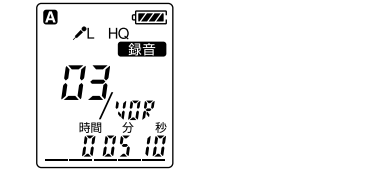
- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「VOR」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「ON」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。



- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

- ご注意**
  - 録音／一時停止ボタンを押す。録音と「VOR」が表示されます。

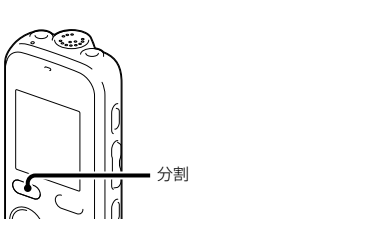


マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「VOR」と「PAUSE」が点滅して、VOR録音が一時的に状態になります。VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには
手順3で「VOR」を「OFF」にします。

- ご注意**
  - ノイズなど不要な音でも録音が始まる場合があります。
  - VOR機能は周囲に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切に録音をするときは、メニューで「VOR」を「OFF」に設定してください。

## 録音の途中でファイルを分割する



続けて録音しながら新しいファイルとして録音することができます。一度分割すると再結合できません。

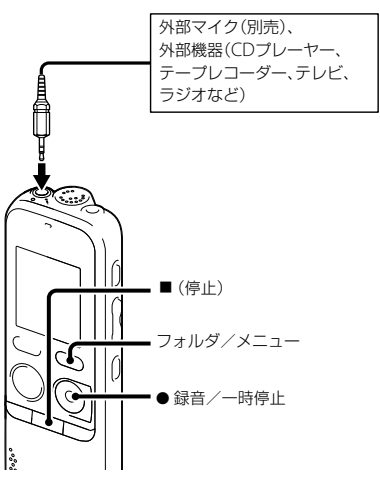
- 録音中に分割ボタンを押す。「[DIVIDE]と新しいファイル番号が点滅します。押したところから新しいファイル番号がつき、2つのファイルとして、続けて録音されます。

ファイル1	ファイル2	ファイル3
	▲	
	ファイル分割	
	▲	ファイル2とファイル3は続けて録音される

**ヒント**
録音一時停止中でもファイル分割できます。

- ご注意**
  - ファイルを分割した場合、前のファイルの最後の音と、あとのファイルの最初の音が重なる場合があります。両方の部分で同じ音が聞ける場合があります。
  - 録音可能録量時間が3秒未満になるとファイル分割はできません。

## 外部マイクや外部機器を接続して録音する



- 停止中に外部マイクまたは外部機器を本機の ○ (マイク)ジャックにつなぐ。
  - 別売のステレオマイクを接続し、SHQモードまたはHQモードに設定して録音するとステレオで録音できます。
  - 他の機器(CDプレーヤー、テープレコーダーやテレビ、ラジオなど)の音声を録音するには、他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を、市販のオーディオコードを使ってつなぎます。

- フォルダ/メニューボタンを押して、録音するファイルを保存したいフォルダを選びⓂⓂⓂⓂまたはⓂ。

- ご注意**
  - 録音／一時停止ボタンを押す。内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクまたはつないだ機器の音を録音します。入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

- 録音を止めるには、本機の ■ (停止)ボタンを押す。

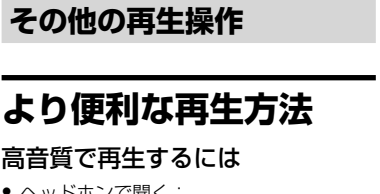
- ご注意**
  - 外部機器と接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

**ヒント**
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

<b>電話機や携帯電話の音声を録音する</b>
別売の電話録音用マイク、ECM-TL3を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。接続方法などについて詳しくは、ECM-TL3の取扱説明書をご覧ください。
<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上でご利用ください。</li> <li>本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。</li></ul>

- 再生中に分割ボタンを押す。「[DIVIDE]と現在のファイル番号が点滅します。

- もう1度分割ボタンを押す。新しいファイル番号がつき、以降のファイル番号はひとつずつ送られます。



ファイル1	ファイル2	ファイル3
	↓	ファイル分割
ファイル1	ファイル2	ファイル3
		▲
		ファイル番号が1つずつ増える

- ご注意**
  - 分割したファイルは再結合できません。(元に戻せません。)
  - 10秒以上操作しない場合、分割設定が解除され停止します。
  - リピート再生中に分割すると、リピート再生は解除されます。
  - 保護設定されているファイルは分割できません。

## その他の再生操作

## より便利な再生方法

高音質で再生するには
ヘッドホンで聞く：
別売のステレオヘッドホンを○ (ヘッドホン)ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。

●外部スピーカーで聞く：
市販のアクティブスピーカーまたはバススピーカーを○ (ヘッドホン)ジャックにつないでください。

**再生中に早送り／早戻しするには (キュー/レビュー)**
早送り(キュー)：再生中に▶▶+ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
早戻し(レビュー)：再生中に◀◀-ボタンを押したままにして、聞きたいところで離します。
最初は再生しながら低速で早送り／早戻しされます。押し続けると、中速、その後高速での早送り／早戻しになります。

**最後のファイルの終わりまで再生または早送りすると**
最後のファイルの終わりまで来ると、「[END]」表示が約5秒間点滅します。
点滅中は録／再プレイは緑に点灯しています(再生音は聞こえません)。
●[END]の点滅と録／再プレイが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
●[END]の点滅中に◀◀-ボタンを押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、▶▶+ボタンを押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「[END]」表示の点灯中に◀◀-ボタンを押して聞きたいところまで早戻して探すと便利です。
最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

## 再生速度を調節する－DPC (デジタル・ピッチ・コントロール)

再生速度を+100%から−50%の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

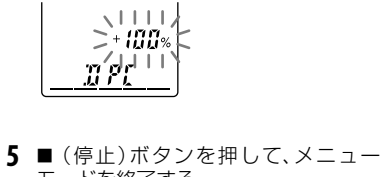
- 停止/再生中にフォルダ/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。メニュー画面が表示されます。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「[DPC]」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。

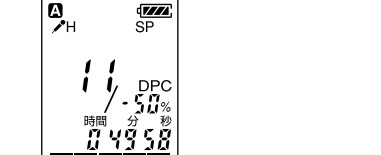
- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「ON」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。



- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、再生速度を選び、▶再生/決定ボタンを押す。
◀◀または▶▶+ボタンを押すごとに、−50%〜0%は5%刻み、0%〜100%は10%刻みで再生速度を設定できます。



- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。DPC再生中は、設定速度が表示されます。



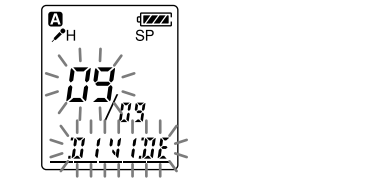
通常の再生速度に戻すには
手順3で「[DPC]」を「[OFF]」にします。

## 再生中にファイルを分割する

再生中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくで再生したい場所がすばやく探し、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになると、ファイルを分割できません。

- 再生中に分割ボタンを押す。「[DIVIDE]と現在のファイル番号が点滅します。

- もう1度分割ボタンを押す。新しいファイル番号がつき、以降のファイル番号はひとつずつ送られます。

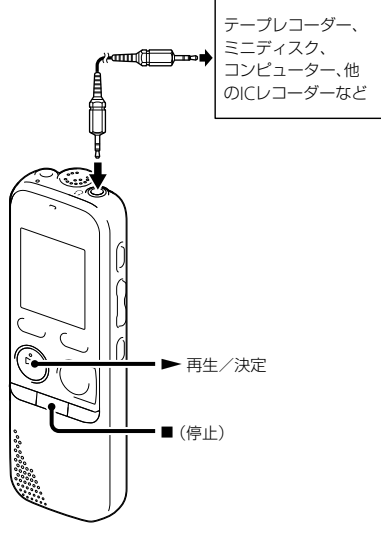


ファイル1	ファイル2	ファイル3
	↓	ファイル分割
ファイル1	ファイル2	ファイル3
		▲
		ファイル番号が1つずつ増える

- ご注意**
  - 分割したファイルは再結合できません。(元に戻せません。)
  - 10秒以上操作しない場合、分割設定が解除され停止します。
  - リピート再生中に分割すると、リピート再生は解除されます。
  - 保護設定されているファイルは分割できません。

ファイル分割した部分を探して聞くには
分割したファイルを1件としてファイル番号がつけられているので、ファイル番号を探するときと同様に◀◀-または▶▶+ボタンを押して再生する部分を探してください。

## 他の機器で録音する



他の機器で本機の音声を録音できます。録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

- 本機の○ (ヘッドホン)ジャックと他の機器の音声入力端子(ステレオミニジャック)を、市販のオーディオコードを使ってつなぎます。
- 本機の▶再生/決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。本機のファイルが他の機器に録音されます。

- 録音を止めるには、本機の ■ (停止)ボタンを押す、つないだ機器の停止ボタンを押す。

- ご注意**
  - 外部機器と接続するときは、抵抗なしオーディオコードをお使いください。

### 編集操作

## フォルダ内の全ファイルを一度に消去する

- ご注意**
  - 保護設定がされているファイルは消去されません。
  - 一度消去した内容は元に戻せません。ご注意ください。

- フォルダ/メニューボタンを押して、ファイルを一度に消去したいフォルダを選びⓂⓂⓂⓂまたはⓂ。

- 停止中にフォルダ/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。メニュー画面が表示されます。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「ALL ERASE」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。「ALL ERASE」、「全消去」が点滅します。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「ALL ERASE」、「全消去」の点滅中に▶再生/決定ボタンをもう1度押す。

- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。



- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

## ファイルを別のフォルダへ移動する

- ご注意**
  - 保護設定がされているファイルは移動できません。

- 移動したいファイルを表示する。

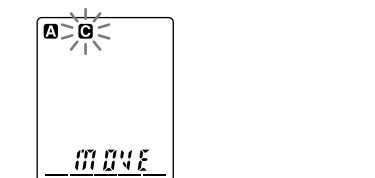
- 停止中にフォルダ/メニューボタンを長押しして、メニューモードに入る。メニュー画面が表示されます。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「MOVE」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。

- 移動したいファイルを表示する。

- ◀◀または▶▶+ボタンを押して、「MOVE」を選び、▶再生/決定ボタンを押す。

- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。



ファイルは選択したフォルダの最後に移動します。

- (停止)ボタンを押して、メニューモードを終了する。

### その他

## 使用上のご注意

**ご使用場所について**
運転中のご使用は危険ですのやめください。

**取り扱いについて**

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
  - 次のような場所は避かないでください。
    - 温度が非常に高いところ (60℃以上)。
    - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
    - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
    - 風呂場など湿気の多いところ。
    - ほこりの多いところ。
  - 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
    - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    - 身体をかかめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
      - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
      - 汗をかく状況での使用。
      - 濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると、水濡れの原因になることがあります。
    - 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にビリビリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気が発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

- ノイズについて**
  - 録音中や再生中に本機を電灯、蛍光灯、携帯電話などに近づけると、ノイズが入ることがあります。
  - 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が発音されることがあります。

**お手入れ**

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジシム、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

## 主な仕様

## 本機の仕様

**容量(ユーザー使用可能領域)**
2 GB (約1.79 GB = 1,924,136,960 Byte)
メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

**最大ファイル数(1フォルダ内)**
99ファイル

**最大ファイル数(5フォルダ内)**
495ファイル

**周波数範囲**
SHQ：75 Hz～20,000 Hz
HQ： 75 Hz～17,000 Hz
SP： 75 Hz～15,000 Hz
LP： 80 Hz～3,500 Hz

**対応ファイルフォーマット**
コーデック：MP3
ビットレート：8 kbps～192 kbps
サンプリング周波数：11,025/44.1 kHz

**スピーカー**
直径28 mm

**入・出力端子**
外部入力(ステレオミニジャック)
プラグイン(ワウ対応)
最小入力レベル：0.4 mV
ヘッドホン(ステレオミニジャック)
推奨負荷インピーダンス：16 Ω

**再生スピード調節(DPC)**
+100%～−50%

**実用最大出力**
300 mW

**電源**
DC3 V、単4形アルカリ乾電池 (付属) 2本
DC2.4 V、単4形充電池ニッケル水素電池 (別売) 2本

**動作温度**
5℃～35℃

**最大外形寸法**
約37.5 mm×114.0 mm×20.9 mm (幅/高さ/奥行)(JEITA\*)

**質量**
約73 g (アルカリ乾電池2本含む)(JEITA\*)
\* 電子情報技術産業協会(JEITA)規格。

**付属品**
表面参照

**別売アクセサリー**
エレクトレットコンデンサマイクロホン：ECM-CZ10、ECM-CS3、ECM-TL3
充電池ニッケル水素充電池単4形：NH-AAA-2BKB\*2

\* ICレコーダーではニッケル水素電池を充電することはできません。充電には別売のニッケル水素電池専用充電器をお使いください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

<b>最大録音時間</b> *3*4		
最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。		
<b>SHQモード</b>	約22時間15分	
<b>HQモード</b>	約33時間20分	
<b>SPモード</b>	約89時間	
<b>LPモード</b>	約534時間25分	
*1 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは下記の乾電池の持続時間をご確認ください。		
*2 表記の最大録音時間は目安です。		

### 電池の持続時間

**乾電池の持続時間**\*1 (ソニーアルカリ乾電池LR03 (5G)を連続使用時)

	<b>SHQモード</b> *3	<b>HQモード</b> *3
録音時	約34時間	約34時間
スピーカー再生時	約12時間	約12時間
ヘッドホン再生時	約36時間	約36時間
	<b>SPモード</b> *4	<b>LPモード</b> *5
録音時	約39時間	約55時間
スピーカー再生時	約12時間	約12時間
ヘッドホン再生時	約36時間	約36時間

**充電式電池の持続時間**\*1 (ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時)

	<b>SHQモード</b> *3	<b>HQモード</b> *3
録音時	約22時間	約22時間
スピーカー再生時	約10時間	約10時間
ヘッドホン再生時	約25時間	約25時間
	<b>SPモード</b> *4	<b>LPモード</b> *5
録音時	約27時間	約37時間
スピーカー再生時	約10時間	約10時間
ヘッドホン再生時	約25時間	約25時間

\*1 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。使用条件によって短くなる場合があります。
\*2 SHQモード：モノラル超高音質モード
\*3 HQモード：モノラル高音質モード
\*4 SPモード：モノラル標準モード
\*5 LPモード：モノラル長時間モード
\*6 音量レベルを27に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

### 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、ICレコーダー・カスターサポートページ(表面)をご覧ください。く、ソニーの相談窓口(表面)までお問い合わせください。修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

## こんなときは

**電源が切れない。**

- 停止中にホールド・電源スイッチを「切」の方向に動かす。

**液晶表示が消えない。表示が二重に見える。**

- 保護シートが付いていませんか。→フィルムを剥がしてください。

**電源が入らない。**

- 電池の⊕と⊖の向きが正しくない。</